

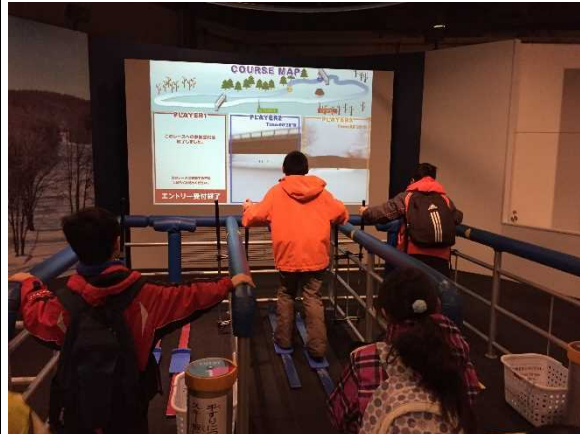
平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 札幌市 】

1 実践テーマ	【I、Ⅲ、V】
2 実施対象者	札幌市立澄川小学校 3・4年生 164名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (道徳、特別活動) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	冬のスポーツに触れ、その良さをまとめ、発表し合うことで、成就感や達成感を味わうとともに自己の成長を振り返り、自己を伸ばそうとする意欲をもてるようにする。
5 取組内容	「冬のスポーツ探検隊」 ・リフトに乗り、スキージャンプ台の上からの景色を見て、その迫力を体感した。 ・元パラリンピック選手の永瀬さんの話を聞き、障害のある方と触れ合う。 ・オリンピックミュージアム内の施設を探索し、歴史ある物に触れたり機械を使用し体験活動を行ったりした。 ○指導計画 〔3時間扱い〕 「道徳」1時間 ・障害のある方の話を聞き、尊敬の気持ちをもって接する。 「特別活動の時間」2時間 ・雪と親しむ ・冬の安全



6 主な成果	・スキージャンプ台の高さを実感的に学ぶことで、ジャンプ選手のすごさを知り、憧れをもつことができた。 ・あきらめずに努力し続けることで夢をつかんだお話を聞いて、尊敬のする気持ちをもつことができた。 ・冬のスポーツに親しみ、関心を広げることができた。
7実践において工夫した点 (事業の特色)	取組の内容に記載した通り。
8主な課題等	・札幌市の全小学校で取り組むことを考えると、札幌市の教育課程編成の手引に位置付けるとよい。 ・館内の待機スペースが狭く感じた。人数を減らすなど工夫が必要。 ・施設内を100人で見学すると全て体験できない子がでてきた。体験できる施設を増やすとよい。 ・この体験と学校での現地学習などを組み合わせて行うことができるよう計画できるとよい。
9来年度以降の実施予定	経費や講師の確保等、持続可能な仕組みづくりを検討している。